

比喩文の適切性評価に関わる主題と喩辞の認知



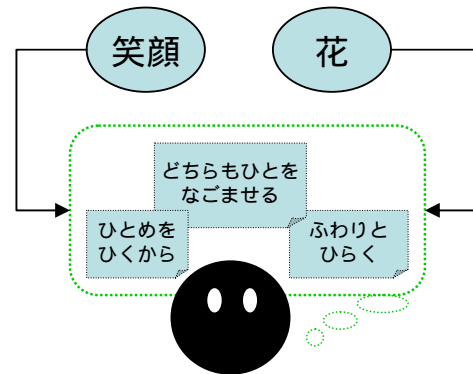
平知宏^{1,2} (sakusha@syd.odn.ne.jp)

楠見孝¹ (kusumi@mbox.kudpc.kyoto-u.ac.jp)

¹京都大学大学院教育学研究科・²日本学術振興会

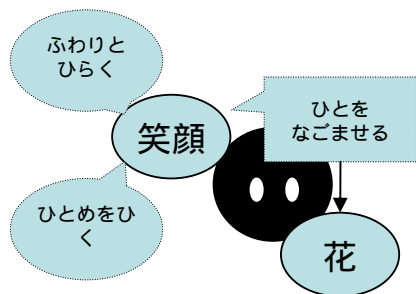
問題と目的

比喩理解では類似性の発見過程が重要である (Bowdle & Gentner, 2005; Gentner & Wolff, 1997; Tversky, 1977)。類似性の発見は、主題 (たとえられる語) と喩辞 (たとえる語) それぞれの間に共通する特徴や、知識構造上の共通性を見出すことを意味する。こうした過程を想定しているかと言う、「理解のプロセス」を検討する上では、非常に重要な点である。従来の研究の多くでは、こうした類似性の発見過程において、主題と喩辞間に強い類似性を感じることが出来るかどうか、比喩文から多くの解釈を産出できるかどうか、比喩文の理解過程や評価の過程に強く関わるとしている (Bowdle & Gentner, 2005; Utsumi, 2005; 平・中本・楠見, 2006)。これらは、**比喩として成立する表現の多くが、主題と喩辞間に多様な類似点や解釈の根拠を有している**ことを示している (cf. Lakoff & Johnson; 1980)。



理解する側にとって、比喩の解釈は様々...

主題と喩辞との間に、多くの解釈が出てきたり、両者の間に強い類似性を感じることが出来れば、その比喩は理解しやすいし、面白いものであると評価される傾向にある.....とのことだが.....



話し手側にとっては、特定の意味を伝える上で、喩辞を選択する必要がある.....

「笑顔」には様々な特徴があるけれど、その中でも「人をなごませる」という特徴について言及したい。そのために、どういう言葉を用いて言えば良いか？

理解のプロセスを扱った研究から、「主題と喩辞間に類似性を感じているかどうか」「多くの解釈が出来るかどうか」が比喩として良いものであるかどうかに関わるといふ示唆が得られる。

一方で、比喩の話し手側と理解する側というコミュニケーション場面上的の問題を考えると、話し手側で、ある特定の意味だけを伝える上で、あえて比喩を用いると言う場面も存在する。また理解する側も、そうした話し手の意図を汲み取って、多様な解釈のうち、文脈において適当な解釈を選択する必要がある。

本研究では、**主題の特定の特徴を表す条件において、比喩表現が使用・理解される動機の問題を扱う。その際、主題や喩辞の性質によって、比喩の適切性評価がどのように変化し得るかを、予備的に検討した。**

調査

材料：主題 喩辞72ペアと比喩文の解釈となりうる特徴72個 (例：笑顔 花：人をなごませる) (Blasko & Connine, 1993; Gernsbacher et al., 2001; Utsumi, 2005; 平・中本・楠見, 2007を参考に作成)

参加者

調査1：日本語と母語とする大学生・大学院生68名

調査2：日本語を母語とする大学生・大学院生99名

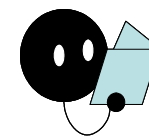
手続き：質問紙による集団形式で実施

調査1：主題 喩辞ペアの類似性評定 (1:似ていない-5:似ている)

主題及び喩辞に対する特徴の重要度 (1:重要でない-5:重要である)

調査2：特徴通りの意味での喩辞の慣習性 (1:慣習的でない-5:慣習的である)

特徴の意味での、比喩文 (直喩・隠喩) の適切性 (1:適切でない-5:適切である)



調査1
“笑顔”と“花”は似ている？
“笑顔”・“花”は人をなごませるもの？

調査2
“人をなごませるもの”として“花”は？
“笑顔は花(のよう)だ”は適切？

結果

各データの平均 (SD) : MIN:1 - MAX:5

主題特徴重要度 : 3.34 (0.69) 喩辞特徴重要度 : 3.58 (0.76)

主題 喩辞類似性 : 2.68 (0.81) 喩辞慣習性 : 3.38 (0.74)

直喩？ 隠喩？ どちらが適切？

直喩 : 3.14 vs. 隠喩 : 3.20 ($t(71)=-1.08, n.s.$)

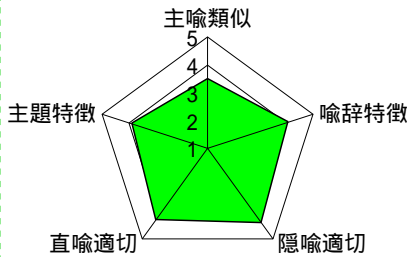
「どちらかの表現が、一方的に適切に感じられる」というわけではない。

相関係数 (赤字は有意になったもの)

	主題重要度	喩辞重要度	主喩類似性	喩辞慣習性	直喩適切性	隠喩適切性
主題重要度		0.087	0.213	0.107	0.241	0.254
喩辞重要度			0.323	0.847	0.481	0.424
主喩類似性				0.318	0.713	0.672
喩辞慣習性					0.528	0.448
直喩適切性						0.868
隠喩適切性						

主題，喩辞双方において，
呈示した特徴が重要であるタイプ

「笑顔 花」：人をなごませる
「恋 病気」：熱っぽくなる

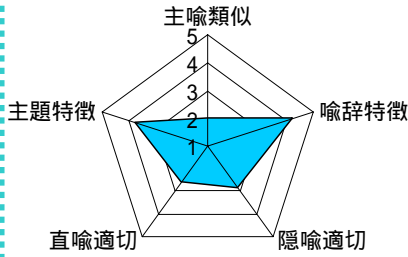


主題・喩辞において呈示した特徴が高いため，比喩文の表記形式に関わらず，適切性評価は非常に高い。

分類数16

主題と喩辞間で特徴の重要度に差はないが
類似性が低いとされたタイプ

「学力 貨幣」：あつて困るものではない
「仕事 監獄」：人を拘束する

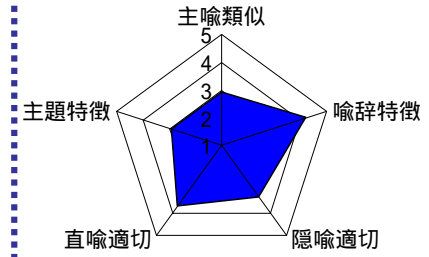


全体的な適切性評価が下がる。これは，主題と喩辞単独呈示時の類似性が低いため。この場合隠喩形式の適切性評価が高くなる。

分類数8

呈示した特徴が喩辞においてのみ顕著で，
主題では顕著でないタイプ

「山道 ヘビ」：くねくねしている
「唐辛子 炎」：とてもあつい

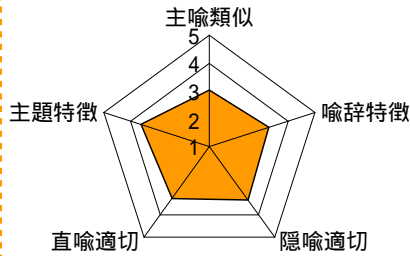


呈示した特徴は，主題において喩辞よりも相対的に重要でない。主題が喩辞の概念に引き上げられるタイプ。この時，ある程度主題と喩辞間に類似性が認められている。直喩形式の方が好まれやすい

分類数10

主題と喩辞間で特徴の重要度に差はなく
類似性が認められているタイプ

「教育 階段」：上へとみちびく
「責任 荷物」：重くのしかかる

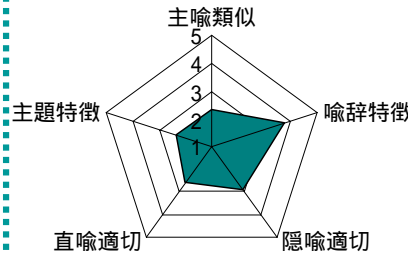


当たり障りのないグループ。直喩と隠喩の差もない。意味はそれなりに通じている模様。

分類数11

主題での特徴重要度が相対的に低く，
類似性が認められていないタイプ

「権力 麻薬」：やみつきになる
「嘘 ブーメラン」：自分にかえってくる

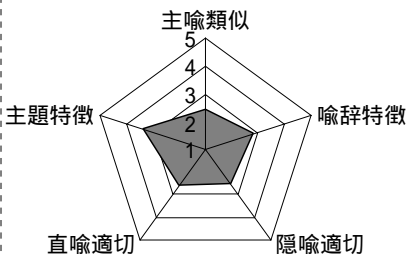


全体として比喩としての意味が通りにくい。隠喩形式のほうが適切性評価が高い。

分類数9

主題での特徴重要度が相対的に高く，
類似性が認められていないタイプ

「アル中 寄生虫」：人を病気にさせる
「議論 建築物」：どんどん積み重なる

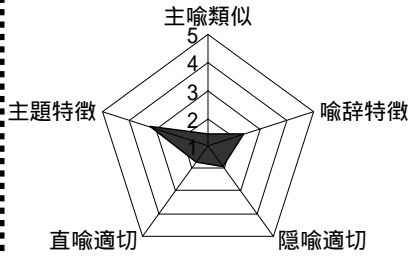


の上位互換(?)。主題・喩辞の特徴重要度，類似度が上がったため，適切性も若干上昇する。

分類数12

主題での特徴重要度が相対的に高く，
類似性が認められていないタイプ

「結婚 冷蔵庫」：色々なものが詰まっている
「試験 クマ」：てごわい



主題において，呈示された特徴はある程度重要。主題と似ない喩辞を用いて表現するのは不適切なタイプ。そもそも意味が通っていない可能性もある。なぜか隠喩形式がお好き

分類数6

まとめ

- ・ある特定の意味で，比喩が適切に機能しているかどうかは，意味が通じているかどうか重要。
- ・主題に特定の特徴が見られなくても，喩辞にその特徴が強く顕在化していれば，比喩としての適切性は上がる傾向にある（Tversky, 1977; 楠見, 1994など顕著性落差モデルを支持）。
- ・特定の特徴が喩辞において強くても，主題との間に何らかの類似性が見出されていないければ，比喩としての適切性は下がる。類似性認知が低いと，隠喩形式のほうが好まれやすくなる。（これは何故？ まとめ中）

引用文献

Blasko, D., & Connie, C.M. (1993). Effects of familiarity and aptness on metaphor processing. *Journal of Experimental Psychology: Learning, Memory, and Cognition*, 19, 259-308.

Bowdle, B., & Gentner, D. (2005). The Career of Metaphor. *Psychological Review*, 112, 193-216.

Gentner, D., & Wolff, P. (1997). Alignment in the processing of metaphor. *Journal of Memory and Language*, 37, 331-355.

Gernsbacher, M. A., Keyser, B., Robertson, R. R. W., & Werner, N. K. (2001). The role of suppression and enhancement in understanding metaphors. *Journal of Memory and Language*, 45, 433-450.

楠見孝 (1994). 比喩理解における主題の意味変化 構成語間の相互作用の検討 *心理学研究*, 65, 197-205.

平知宏・中本敬子・楠見孝 (2006). 直喩文の理解容易性と解釈多様性が面白さに及ぼす効果：理解がしやすく多くの解釈ができるから面白い。 *日本心理学会第70回発表論文集*, 240.

平知宏・中本敬子・楠見孝 (2007). 比喩理解における親しみやすさと解釈の多様性. *認知科学*, 14, 322-338.

Tversky, A. (1977). Features of similarity. *Psychological Review*, 84, 327-352.

Utsumi, A. (2005). The role of feature emergence in metaphor appreciation. *Metaphor and Symbol*, 20, 151-172.